

## 日本バドミントン協会メールマガジン【2024年11月号】

「世界ジュニア女子ダブルス玉木・平本ペアが優勝。玉木選手はこの種目2連覇！！」

世界ジュニア選手権大会は団体戦に引き続き、個人戦が10月7日～13日で中国・南昌で開催されました。日本は女子ダブルスで玉木亜弥・平本梨々菜ペアが準決勝でインドネシアペア、決勝でマレーシアペアに勝利して見事優勝を果たしました。玉木選手は昨年、田口選手（現 ACT SAIKYO）とペアを組んで優勝。女子ダブルス2連覇を達成しました。この種目での**日本勢連覇は史上初の快挙**となりました。また、男子ダブルスでは松川健大・中静悠斗ペアが**銅メダルを獲得**。男子勢では5年ぶりに世界ジュニア選手権銅メダルを獲得しました。混合ダブルスでは澤田修志・玉木亜弥ペアが**銅メダルを獲得**。玉木選手は団体・女子ダブルス・混合ダブルスで3個のメダルを獲得する快挙となりました。ジュニア勢の活躍が今後も楽しみです！！

（強化本部：舛田圭太）



（舛田圭太プロフィール）

日本バドミントン協会強化本部テクニカルエキスパート。  
元日本代表選手・コーチとしての経験を生かして、  
主に代表選手強化を担当。



### 【大会 Topics 『全日本総合』PR】

早いもので、今年もあとわずか。バドミントン競技の年末を彩る**第78回全日本総合バドミントン選手権**が**12月25日(水)～30日(月)**まで、東京都調布市「武蔵野の森総合スポーツプラザ」で開催されます。

5種目それぞれの日本一を決める、国内最高峰の大会である「全日本総合」は、バドミントン競技者であれば一度は目指す目標でもあり、憧れの大会です。

本文書を無断でダウンロードし、他への転載を禁止します。福島県バドミントン協会 総務委員会

## 日本バドミントン協会メールマガジン【2024年11月号】

注目の決勝戦はフジテレビ系列全国ネットで放送。

本大会の結果は、ロサンゼルス五輪に向けて年明けに発表する日本代表チーム選考の対象になりますので、ワールドツアーで活躍する選出たちの活躍にも期待です。

一年の締めくくりにスタッフ一同、今年も最高の舞台を準備したいと思います。

寒さも本格化する時期ですが、みなさまのご来場をお待ちしております！

(事業本部 大野淳)



(大野淳プロフィール)

日本バドミントン協会 事業本部長兼事務局長。

学生時代は、体育会サッカー部に所属。

選手&学連委員長としても活躍。



### 【協会 Topics S/J開幕レポート】

11月2日の山口大会、さいたま大会を皮切りに、**日本最高峰リーグであるS/Jリーグが開幕**いたしました！山口大会では地元 ACT SAIKYO が躍動し、志田松山ペアを始めとするオリンピックも登場。大きな盛り上がりを見せました。さいたま大会においても、桃田選手や永原選手、松本選手などの世界王者が出場し、見応えのある試合が多数展開されました。また、今シーズンは順位表の変更や個人賞の整備、各大会の**プレーヤー・オブ・ザ・マッチ**

本文書を無断でダウンロードし、他への転載を禁止します。福島県バドミントン協会 総務委員会

## 日本バドミントン協会メールマガジン【2024年11月号】

(POM)を決める投票を実施するなど、よりエンターテインメント性を重視した改革をリーグとして行っております。

男女それぞれ 12 チームが 2 ブロックに分かれ、2 月 3 日まで全国各地でレギュラーシーズンを戦います。各ブロック上位 2 チームが参加する、**優勝決定戦 TOP4 トーナメントが 2 月 21 日、22 日に横浜市、BUNTAI で開催**されます。是非団体戦特有の盛り上がりを見せるS/Jリーグを会場でご観戦ください！

(企画本部メルマガ編集部)

大会 HP:<https://www.sj-league.jp/>



### 【リレーコラム スポーツツーリズムと国際大会/国際大会誘致】

**スポーツツーリズムは、「スポーツで人を動かす仕組みづくり」**を意味します。世界では、スポーツを観光目的にする旅行は日常的に行われており、マラソン大会への参加やスキーリゾートへの旅行、そしてテニスの 4 大大会やサッカーのワールドカップの観戦など、アトラクションとして多様なスポーツイベントが存在します。スポーツツーリズムの市場は世界的に拡大しており、現在の世界の市場規模は 60～70 兆円程度ですが、2030 年には 234 兆円に成長すると予測されています(ちなみに年平均成長率は 16.1%！)。国内には、スポーツツーリズムを推進する一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)があり、スポーツイベントやスポーツ合宿の誘致を専門にする「スポーツコミッション」という組織の設置支援を行っており、これまで全国に 200 か所のスポーツコミッションが設立されました。今後は日本固有の文化である武道を活用した武道ツーリズムや、若者に人気のアーバンスポーツツーリズムの発展が予想されます。(本会理事 原田宗彦)

# 日本バドミントン協会メールマガジン【2024年11月号】

(本会理事:原田宗彦プロフィール)

日本バドミントン協会理事

大阪体育大学学長

日本トライアスロン連合顧問

日本バレーボール協会理事

日本弓道連盟理事



次月は12月20日に配信いたします。

今後ともご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



公益財団法人日本バドミントン協会

企画本部メルマガ編集部

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

**Japan Sport Olympic Square7階**

公益財団法人日本バドミントン協会

**TEL:03-6434-5141 FAX:03-6434-7715**



本文書を無断でダウンロードし、他への転載を禁止します。福島県バドミントン協会 総務委員会